

## 一の年度に入学した者のうち、標準修業年限以内で修了した者（満期退学者を除く）の占める割合

### 【注釈】

- ・ 計算式：標準修業年限で修了した者の数 ÷ 標準修業年限（2年制課程であれば2年）前の入学者数
- ・ 休学期間は修業期間に含めている。
- ・ 満期退学者とは、課程修了要件のうち、当該課程に在学中に、論文の審査及び試験に合格することのみ満たすことができず、当該課程を退学した者を指す。
- ・ 早期修了者については、標準修業年限内修了者に含めている。
- ・ 長期履修者は、標準修業年限で修了した者に含めない。

### 創発科学研究科修士課程（標準修業年限2年）

2022年度入学者	94.9%
-----------	-------

### 医学系研究科看護学専攻修士課程（標準修業年限2年）

2022年度入学者	87.5%
-----------	-------

### 【分析及び解説】

この表では、長期履修者は標準修業年限で修了した者に含まれていない。  
修了できなかったのは長期履修者であり、それ以外の全員が標準修業年限内で修了した。

### 医学系研究科臨床心理学専攻修士課程（標準修業年限2年）

2022年度入学者	100.0%
-----------	--------

### 【分析及び解説】

2022年度入学者全員が標準修業年限内で修了した。

### 農学研究科修士課程（標準修業年限2年）

2022年度入学者	94.7%
-----------	-------

教育学研究科専門職学位課程（標準修業年限2年）

2022年度入学者	83.3%
-----------	-------

【分析及び解説】

24名の入学者のうち、退学者1名（4.2%）、長期履修者3名（12.5%）があり、標準修業年限以内で修了した者20名（83.3%）となっている。

地域マネジメント研究科専門職学位課程（標準修業年限2年）

2022年度入学者	100.0%
-----------	--------

【分析及び解説】

本研究科はビジネススクールであり学生の多くが有職者であること（その中には勤務先からの派遣が一定数含まれる）、給付条件に標準修業年限での修了を含む厚生労働大臣指定教育訓練講座「専門実践教育訓練給付制度」を利用する学生が一定数存在すること等により、標準修業年限で修了する者の割合が高くなる傾向がある。例年、個別の事情により休学・退学・長期履修する学生が若干名存在するが、2022年度入学者の該当者は0名であり、標準修業年限内修了者の割合が特に高い値となっている。

工学研究科博士後期課程（標準修業年限3年）

2021年度入学者	50.0%
-----------	-------

医学系研究科博士課程（標準修業年限4年）

2020年度入学者	37.0%
-----------	-------

【分析及び解説】

本課程の在学者は有職者が多数を占める。多忙等の理由で修了要件を満たせなかった者や休学した者があり、2020年度入学者の標準修業年限内での修了率は37%であった。